

まちのニュース

えっ! そうなんだ。

◆不思議? ふしぎ? 「龍角寺の七不思議! ?」

竜女が一晩で創建されたといわれている龍角寺周辺から現在の房総のむら、坂田ヶ池周辺(成田市)にかけて不思議な伝説が語り継がれています。

一 【八つの井戸】

龍角寺・酒直地区の山裾には清水湧く八つの井戸があり、人々は毎日その水を汲みに行っていました。しかし大変不便であったので、ある時、いくつかの家々で近所に井戸を掘ったところ、ことごとく不幸に見舞われたといえます。以来、新たな井戸を掘る者はいませんでした。

二 【親は古酒、子は清水】

岩屋古墳のふもとの谷の湧水。昔、上福田村に住んでいた貧しい人が、酒好きでしたが買うお金がありませんでした。ところが毎日父親が酒に酔って帰ってくるので息子が不思議に思い跡をつけていくと、酒直村の清水を汲み、よい酒だと飲んでいました。しかし後で息子が飲んでみるとただの清水だったそうです。女の人が飲むと乳汁が多くでるとも言われています。

「宮貞定雄下総名称図絵」編川名登より

三 【三ヶの岩屋】

岩屋古墳とみそ岩屋古墳(一説に上福田岩屋古墳)の三つの石室を三ヶの岩屋といいます。ここは隠里でかみ人が住む処と伝えられ、よい調度品など多く持っていました。来客などがあって里人に足りない物を頼まれれば、翌朝衣服や器物を石室の前に出してくれました。ところがそれを返さないで持ち帰るものもいたと伝えられています。

津村涼庵「譚海」より

今も龍角寺に返し忘れた膳椀一組が保管されています。

四 【片齒の梅】

竜女が蓮華を植えた沙伽陀ヶ池(坂田ヶ池)の堤は度々決壊して氾濫しました。その時少女を沈めて後静まるという人柱伝説があります。その少女が半ば食べていた梅の実をもっており、その後生えた梅の木の実のかじった跡がついているということです

香取秀真「天の真榊」より

五 【村雨返しの松】

昔、龍角寺と南羽鳥の境界に松の木がありました。一方は雨が降っていても、もう一方は晴れている、そんなことが度々あったといわれています。この松も今は枯れてしまったといえます。

六 【不増不減の石】

龍角寺境内の塔心礎の柱穴に溜まった水は、大雨の日も日照りの日も増減することがないといわれています。

七 【龍燈腰掛の松】

慈雨を降らせた印旛沼の竜の裂かれた頭部が、素羽鷹神社の松にかかりました。その後、そこに燈火があがったともいわれていますが、今は枯れてしまったといえます。



岩屋古墳にて

※一、五、六、七は 栄町発行「ドラムと一緒に歩こうさかえまち」より

『七不思議物語』を今夏、ミュージカルで上演

さかえ市民みゅーじかるの会は元気なまちづくりを進めるために、ミュージカルを通して古くから語り継がれている龍や七不思議などの栄町の魅力ある伝説を伝える活動をしています。

平成22年、平成23年「優しい龍の物語」を上演し、今年内容も新たに第3回公演「七不思議物語」を上演します。演出や振付、音楽のプロの方々の指導を受け、また多くの住民の方々の協力も得、栄町らしい舞台が繰り広げられることと思います。文化を通して舞台も客席も多くの人がつながる「とき」を体感しませんか。

さかえ市民ミュージカル 第3回公演 七不思議物語

◎日時: 8月11日(日) 昼の部 13:30(開場 13:00)

夜の部 17:30(開場 17:00)

◎会場: ふれあいプラザさかえ文化ホール

◎入場料: 大人 1500円(当日券 1700円)

◆ 昼夜共通で入場はできません。

小人 1000円(当日券 1200円)

◎チケット販売場所: ふれあいプラザ窓口

◆ 6/15(土)

販売開始

ねむの木レストラン(ふれプラ内)

NPO 法人栄町観光協会(ドラムの里)

◎問合せ: さかえ市民みゅーじかるの会 事務局

協力: 心の架け橋を築く会 みゅーじかるを支える会 NPO 法人ねむの里